

流通とS C・私の視点

2019年7月26日

視点(2306)

自由主義国家・社会主義国家と経済成長力!!

(流通理論編)

伝統的國家の形態を政治面と経済面で見ると次の通りです。

	自由主義国家	社会主義国家
政治面	民主主義	専制・独裁主義
経済面	資本主義（自由経済・需給経済）	共産主義（計画経済・統制経済）
事例国家	アメリカ、日本、EU	旧ソ連、旧中国（改革開放経済以前）

伝統的國家の形態は、自由主義國家が社会主義國家を崩壊（ソ連を中心とする東欧社会主義國家）あるいは転換（中国、ベトナム等の旧型共産主義の放棄）させ、今や北朝鮮やキューバしか残っていません。社会主義國家は独裁政治家の貴族主義・腐敗主義と経済の共同成果主義による労働意欲の低下、それに伴う生産性の低さが社会主義の崩壊に導きました。

その意味において、自由主義國家は国民に選ばれた政治家による政権交代制度や資本家・労働者の成果報酬意欲、消費者の需要に伴う生産方式等は経営意欲や労働意欲、さらには需要（ニーズ）に対応する為のイノベーション（革新）による経済成長・生産性の向上が促進されました。

しかし、今、中国の経済発展は目覚ましいものがあり、日本を追い越し、やがてアメリカを追い越す勢いです。

この中国の國家の形態を「国家資本主義」と呼ぶならば、歴史的に見ると次の通りです。

	近代・日本型	現在・中国型
政治面	民主主義	専制・独裁主義
経済面	資本主義・計画経済	資本主義・計画経済
事例国家	近代日本（1940～1970年）	・現在中国（1978年の改革開放経済以降） ・ナチスドイツ（1933～1945年）

中国は政治的に社会主義國家の専制・独裁主義を維持しつつ、資本主義経済を導入して、国営企業が多いにしろ活力ある経済を確立しました。

実はこの国家資本主義のモデルは、ナチスドイツが専制・独裁政権のもと、資本主義経済と計画経済（成長経済の促進と国力強化）を融合させ、最終的には戦争に負けて國家を崩壊させましたが、第1次世界大戦の敗北後のドイツを復興させ國家を大繁栄に導き、世界を相手に戦いを挑む國家まで成長させた原動力となった経済です。

さらに、日本の戦後の大躍進も、1940年の国家総動員法に基づく国家資本主義（計画経済による効率的生産と国力増強）は、戦後の復興計画（1945～1950年代）、池田内閣の所得倍増計画（1960年代）、田中内閣の日本列島改造計画（1970年代）へと続き、まさに、戦後の日本経済の発展は、国家主導による民間経済の誘導する国家資本主義の色濃い政策の結果でした。

今、中国は専制・独裁主義を基にした経済力・軍事力の計画経済を推進しており、国力を飛躍的に高めています。目標の設定と行動力は民主主義より専制・独裁主義が効果があり、後進国の経済を発展させるには国家資本主義は有効です。しかし、計画経済は先端先進国に追随する時は有効ですが、先端先進国に近づくと自らのイノベーション（革新）がないと成長が停滞します。1990年代以降の日本がその例で、飛ぶ鳥を落とす勢いの中国の未来は？ また、中国の専制・独裁主義の持続可能性は？

(株)ダイナミックマーケティング社⁷

代表 六 軍 秀 之